

# 仙台市議会だより

sendai city assembly

第145号

平成21年

第2回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp>

2009年(平成21年)8月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



**仙台市地下鉄**：昭和62年7月15日、南北線富沢一八乙女間の全線13.6kmが開通しました。平成4年には泉中央駅へ延伸しました(総延長14.8km)。現在、平成27年を開業予定とし、東西線(動物公園-荒井間13.9km)事業を進めています。東西線はリニアモーター式を採用する予定です。写真提供：仙台市観光交流課

**仙台市電**：大正15年11月25日から昭和51年3月31日まで、仙台市交通局が運営していた路面電車です。保管された車両は太白区富沢の仙台市電保存館で見学できます。

写真提供：仙台市交通局



市民のみなさまへ 第一回臨時会の概要 定例会会期日程 定例会の流れ	1面
議案の紹介 代表質疑 一般質問	2・3面 4面
常任委員会審議の概要 用語解説	5面
調査特別委員会からの報告 議会運営委員会の一年を終えて 市長に対する問責決議 議員提案条例・意見書・請願 議員表彰 傍聴の案内 新しく選任された委員会の委員	6・7面 7面
新しく選任された委員会の委員 決議 会派別議案等賛否一覧表 編集後記 次回定例会のお知らせ	8面

6/24	6/22	6/17~19	6/15・16	6/9
本会議	常任委員会	本会議	本会議	本会議
<ul style="list-style-type: none"> <li>人事案件</li> <li>請願の採択</li> <li>意見書の採決</li> <li>各調査特別委員会委員長報告</li> <li>正副議長の選挙</li> <li>各常任委員・議会運営委員及び各調査特別委員の選任</li> <li>議案の提案理由説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議案の審査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般質問 14人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表質疑 6人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事案件</li> <li>請願の採択</li> <li>意見書の採決</li> <li>各調査特別委員会委員長報告</li> <li>正副議長の選挙</li> <li>各常任委員・議会運営委員及び各調査特別委員の選任</li> <li>議案の提案理由説明</li> </ul>

本会議		委員会		本会議	
閉会	議決	委員長報告	常任委員会(公審査)	委員会付託	開会
議長の閉会宣言が終了します。	議案について、賛成・反対の採決を行います。	各委員長が委員会での審査の経過等を報告します。	それぞれの委員会に所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	議案を常設の六つの常任委員会に付託します。	議長の開会宣言で会議が始まります。
討論	議案について、賛成・反対の意見が述べられます。	報告	各委員長が委員会での審査の経過等を報告します。	一般質問	市長及び議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
議決	議案について、賛成・反対の採決を行います。	質疑	各委員の代表議員が議案について質疑し、提案者について説明を求めます。	代表質疑	各委員の代表議員が議案について質疑し、提案者について説明を求めます。
議決	議案について、賛成・反対の採決を行います。	質問	発言を通告した議員が市政全般について質問し、執行部の説明を求めます。	説明	市長及び議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
議決	議案について、賛成・反対の採決を行います。	質疑	発言を通告した議員が市政全般について質問し、執行部の説明を求めます。	提案	市長及び議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
議決	議案について、賛成・反対の採決を行います。	質疑	発言を通告した議員が市政全般について質問し、執行部の説明を求めます。	採決	議案の結果、全ての議案が可決・承認されました。

## 目次

## 定例会会期日程

## 定例会の流れ

## 市民のみなさまへ



副議長 渡辺 公一



議長 野田 誠

**就任にあたって**  
私たちは、六月の第二回定例会において、それぞれ第五十一代議長ならびに第五十八代副議長に就任いたしました。市制施行百二十周年・政令指定都市移行二十周年の記念すべき時に、このような大役を委ねられまして、責任の重大さを痛感いたしております。地方分権時代の今日、地方議会が果たすべき役割はますます大きくなってまいります。同時に議会制民主主義と地方自治における市民の参画は、非常に重要となっております。市民の目線に立って、さらに開かれた議会へと改革を継続していくために、皆様の声に真摯に耳を傾け、本市の抱える諸課題の解決に全力を注いでまいりたいと存じます。

**第二回定例会**  
今議会では、緊急雇用対策や新型インフルエンザへの対応などの具体的な問題のほか、梅原市政の総括を問う議論が活発に行われました。

**第一回臨時会の概要**  
平成二十一年第一回臨時会が、五月二十八日、二十九日の二日間にわたり開かれ、六月に支給する特別職・一般職員の期末・勤勉手当(ボーナス)の支給を一部凍結する条例改正案等の議案が提案されました。これは、厳しい経済情勢を踏まえ、人事委員会から出された意見を尊重したものです。凍結割合は、市長などの特別職は、〇・一五カ月分、一般職員は、〇・二カ月分です。

また、議会からも議員のポーンナスについて、〇・一五カ月の支給を凍結する条例改正案を提出しました。

採決の結果、全ての議案が可決・承認されました。

# 議案の紹介

今定例会に提出された議案23件のうち21議案が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。

## 平成二十一年度補正予算

○一般会計(主な補正予算項目)  
 ・補助事業認定決定見込みに伴い、消費者支援に要する経費を追加するため、七百七十五万九千九百を計上するもの。  
 ・補助事業認定決定見込みに伴い、緊急雇用対策費の追加として、緊急雇用創出事業費二億五百万円及びふるさと雇用再生特別基金事業費一億二千七百万円を計上するもの。

金事業費一億二千七百万円を計上するもの。  
 ・非正規労働者等の短期の雇用機会を創出するための主な事業  
 ・市税少額滞納整理強化推進事業費 千八百七十七万二千円  
 ・公園緑地等林地管理事業費 二千八百五十八万八千円  
 ・街路樹台帳システム整備事業費 千七百七十万円  
 ・地域における継続的な雇用機会を創出するための主な事業  
 ・介護施設等サービス向上支援事業費 二千二百四十四万円  
 ・企画提案型「ミニシティ」ビジネス支援事業費 三千一百八十一万八千円  
 ・市営住宅建設費の追加により、住宅建設費の追加として一億七千万円を計上するもの。  
 ・補助事業費の追加により、道路新設改良費の追加として八千四百

百万円、橋りょう費の追加として一億九千四百万円、公園整備費の追加として四億三千四百万円を計上するもの。  
 ○特別会計(補正予算項目)  
 ・駅東第二地区事業費の追加として五億五千八百万円及び富沢駅周辺地区事業費の追加として五億五千万円を計上するもの。  
 ○企業会計(補正予算の概況)  
 ・補助事業の認定見込みに伴い、管さき建設費等八億九千二百八十万円を増額するもの。  
 ・東西線建設事業について、国庫補助金の追加交付に伴い、東西線建設費七億七千八百九十万円を増額するもの。  
 ○子育てふれあいプラザ条例の一部を改正する条例  
 子育てふれあいプラザ長町南を設置するもの。

○地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例  
 長町副都心住宅地区計画の区域内の建築物に関する制限の内容及び整備計画区域の名称を変更することにも、あすと長町西部地区計画の区域内の建築物に関する制限の内容を変更するもの。  
 ○工事請負契約の締結に関する件  
 鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業第二工区建設工事

○町の区域をあらたに画する件  
 山田中前土地区画整理事業施行地区内について行うもの。  
 ○町の区域の変更に関する件  
 七北田字大沢日焼等における宅地造成工事施行地区内及び同工事施行地区隣接地について行うもの。  
 ○宮城県後高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及びこれに伴う宮城県後期

高齢者医療広域連合規約の変更の協議に関する件  
 気仙沼市と本吉町の合併によるもの。  
 ○市道路線の認定及び廃止に関する件  
 小田原四丁目一号線ほか二十六路線を市道として認定し、宮沢根白石(その三)線ほか五路線を廃止するもの。  
 ○人事  
 ○人事委員会の委員の選任  
 稲葉 馨  
 ○固定資産評価員の選任  
 山口 正浩  
 ○監査委員の選任  
 鈴木 勇治 田村 稔  
 ○農業委員会選任委員の推薦  
 山口 津世子 庄司 俊充  
 岡部 恒司 安孫子 雅浩

# 改革ネット・民

西澤 啓文 議員

国の大規模補正予算の積極的利用

国では、追加経済対策として、十三兆円を超える大型補正予算を成立させた。この補正予算には、公共事業等での地方の負担軽減の他、地方公共団体が一定程度任意に活用できる補助金もある。景気後退の波が市民生活にも及んでいることから、こうした補助金を積極的に活用して、さらなる経済対策を講じるべき。

## 答

今回、国の補正予算に伴い地方に交付される、国庫補助金や新たに各都道府県などに設置される各種基金による財源については配分額、充て可能な事業の詳細や併せて活用可能な国庫補助制度など、まだ明らかになっていない点も多い。

## 問

今後、こうした点を確認しながら、実施すべき事業、施策について調整し、これらの財源を有効かつ積極的に活用してまいりたい。

## 問

子育て支援については、子育ての環境や市民の意識が変化している中、本年度策定する「仮称 新・仙台市すこやか子育てプラン」には、子育て世代及び子育てを支援している方々等市民の意見に十分目を傾け、より実効性のある施策を盛り込むべき。

## 答

少子化や子育て家庭の孤立化の進展、仕事と子育ての両立へのニーズの高まり、児童虐待の増加等の課題を踏まえ、具体的かつ実効性のある計画にしたい。

## 問

梅原市長の政治責任について



補正予算の速やかな執行が望まれる市内各事業(写真は、都市計画道路郡山折立線)

# 代表質疑

## きぼう

熊谷 善夫 議員

新型インフルエンザに 万全の備えを

秋以降、新型インフルエンザの感染拡大が危惧されるが、その対応策および学校や福祉施設、保育所に対する措置方針を伺う。



協力診療所への配布用として備蓄しているタミフルとマスク

特に、予防啓発や電話相談なども進め市民の安心・安全の確保に努める。また、学校・福祉施設で患者が発生した場合は、一定期間の休校・休業措置を、保育所は原則として休所措置はとらないもの、感染状況によっては休所を検討する。

## 問

入所待機者が多い中、新規施設の整備事業計画と比べ実情は

## 本共産党

花木 則彰 議員

誘致企業に雇用責任を求めよ

東北セミコンタツタには十三億円も「雇用創出のため」に助成した。米国の親会社による一方的な工場閉鎖発表に抗議し、六百名の従業員に継続雇用を求めよ。

## 問

市内の結核病床維持を

仙台赤十字病院内の結核病床閉鎖計画は重大。県に対し、市内の結核病床の確保を行えるよう対策強化を働きかけるとともに、県とも十分に協議し、市も、病床維持に必要な財源措置を行うべき。

## 答

県と本市は、今まで赤十字病院の赤字補填の補助を行ってきた。赤字額全額の補填も視野に入れて協議したが、結核病床を今年度末で廃止する病院側の意思は固い。引き続き、結核医療の確保に向け、県と連携協力していく。

相次ぐ県内の結核病床の閉鎖			
病院名	結核病床数	時期	
東北公済病院宮城野分科	50	H12. 4	閉鎖
公立深谷病院	19	H13. 3	閉鎖
東北大病院	24	H14. 3	閉鎖
国立病院宮城病院	32	H16. 4	休止
気仙沼市立病院	20	H16. 1	廃止
石巻赤十字病院	12	H18. 5	廃止
大崎市民病院	8	H20. 6	休止
公立刈田総合病院	4	H21. 1	休止
仙台赤十字病院	30	H22. 3	廃止予定
県立循環器・呼吸器病センター(緑峰)	50		

その他の主な質疑項目  
 ○市民への説明責任を放棄した梅原市長には市長の資格はない。  
 ○J-T跡地への新たなショッピングセンター計画は合計すると店舗面積一万mを超え、名目上だけ分離した届出は、法のすり抜けであり、是正すべき。

# 公明党

菊地 昭一 議員

緊急経済対策の迅速な予算執行

本市の景気浮揚を図るための国の緊急経済対策および本市補正予算、前年度繰越事業の迅速な執行を求める。

## 問

地球温暖化対策は、重要な

地球温暖化対策は、重要な課題であり、環境先進都市を目指す本市として、このように認識し、取り組むのか。

## 答

地球温暖化対策は、重要な課題であり、環境先進都市を目指す本市として、このように認識し、取り組むのか。

事前費代金の迅速な支払い、地元優先発注の徹底などの対策に取り組むこととした。  
 前年度繰越事業はもとより、今回の補正予算を含めた今年度予算を、可能な限り本年度上半期に発注するように努めたい。

# 社民党

小山 勇朗 議員

タクシーチケットの不正使用問題

市長は、不正使用でないと言っているが、その根拠について説明責任を果たすべきである。それできないのなら、深く続投を断念すべきである。

## 問

緊急雇用対策事業に

今回の緊急雇用創出事業費は一億五千万円を計上し、百四十六名の新規雇用を見込んだ事業だがその一環として仙台西部地区・秋保地区のインシシ対策を提案する。

## 答

インシシ対策については、捕獲檻を増設したほか、効果をおいている地域ぐるみの防除対策を広めるため、市と国の補助制度の併用の仕組みをつくるなど支援策の強化を図った。緊急雇用創出事業の活用についても、防除対策に



秋保地区で捕獲されたインシシ

関するきめ細かな支援に効果的であると思われるので、その活用方法を検討中である。  
 ○今回の国の補正予算は党利党略でのバラマキであり問題だ。  
 ○市長の公約と政治姿勢について○ふるさと雇用再生特別基金事業について  
 ○平成二十一年第二回監査報告書について



旭丘小学校(青葉区)校舎屋上の太陽光発電パネル



### 東西線沿線整備調査特別委員会

委員長 伊藤 新治郎 副委員長 橋本 啓一

本委員会は、東西線整備及びこれに伴う沿線地域のまちづくりを促進することにより、これに対応した総合交通体系の確立を図ることを目的に設置された。

「東西線整備に際しては沿線まちづくりの加速的推進について」を調査対象とし、「市民協働によるまちづくり」や民間開発の加速的推進に向けた取組みについて」及び「東西線整備事業の進捗状況」について調査項目として、六回にわたり委員会を開催した。委員相互の意見交換を行ったほか、九月に土木工事施工箇所を視察し、十月に有識者から、「仙台のまちづくり」と地下鉄東西線の可能性について意見を伺った。

また、十一月には神戸市営地下鉄の西神・山手線周辺及び海岸線沿線のまちづくりの視察を行った。



神戸市での視察

平成二十七年年度の開業を目指す。八月には山手線周辺及び海岸線沿線のまちづくりの視察を行った。

また、十一月には神戸市営地下鉄の西神・山手線周辺及び海岸線沿線のまちづくりの視察を行った。

また、十一月には神戸市営地下鉄の西神・山手線周辺及び海岸線沿線のまちづくりの視察を行った。

### 観光振興・地域経済活性化調査特別委員会

委員長 西澤 啓文 副委員長 佐藤 わか子

本委員会は、観光の振興を通じて、都市としての誘客・集客力を高め、地域経済の活性化を図ることを目的に設置された。

平成二十年十月から十二月まで行われた仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの盛り上がりや、本市の観光に力を入れている「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」後の誘客の継続について、本市の観光における高いポテンシャルや、都市としての魅力を再認識した上で、旅行動機につながる新たな商品づくりを推進することが重要であり、近隣都市と連携した回遊型の観光の促進や、観光客に寄り添ったイベントに参加して印象を深めてもらう仕掛けづくりをすることが効果的だと考えられる。

また、「観光資源の整備促進」について、



山口県庁での視察

## 調査特別委員会からの報告

任期 平成20年6月11日から平成21年6月9日まで

### 防災・危機対策調査特別委員会

委員長 菊地 昭一 副委員長 横田 匡人

本委員会は、防災・危機対策の充実強化を図ることにより、宮城県沖地震等あらゆる災害・危機から市民の生命と財産を守ることを目的に設置された。

調査テーマを「個人の防災対応力向上対策」とし、五回にわたり委員会を開催し、委員相互の意見交換を行ったことにより、有識者から「迫り来る宮城県沖地震に備えて命を守る室内安全対策」と「普段の生活の延長上で取り組むことができる防災・減災対策」について意見を伺った。また、一月には、静岡県と神戸市への視察を行った。

個人が災害に強くなくなること



静岡県庁での視察

が、ひいては災害に強いまちづくりにつながるという観点から、これらを促進する仕組みを確立することが重要な課題であると考えられる。

無関心層を中心とした普及促進には限界が感じられることから、こうした無関心層への周知の工夫と、関心はあっても防災に具体的に取組めない市民を減らしていく工夫が必要である。

また、市民一人ひとりが防災対策の重要性を認識する必要がある。このためには、みずから被災するイメージを持つこと、すなわち気づきが必要であり、個人の気づきが個人の防災対応力を高め、災害に強いまちをつくることにつながる。

### 地球温暖化防止等調査特別委員会

委員長 安孫子 雅浩 副委員長 嶋中 貴志

本委員会は、ごみ減量化のための対策の充実等、地球温暖化防止に向けた取り組みなどにより、環境負荷の少ない都市づくりを目指すことを目的に設置された。

調査テーマを「地球温暖化防止(低炭素社会)に向けた取り組み」と「温室効果ガスの排出抑制に向けた具体策の検討」の二つとして六回にわたり委員会を開催し、委員相互の意見交換を行ったほか、有識者から地球温暖化の現状や本市における温暖化対策について意見を伺った。

また、本市内における太陽光発電やソーラーシェアリングシステムなど、新エネルギーに関する最新の状況について視察を行ったほか、一月には次世代型の電気自動車やハイブリッド車などの製造している三菱自動車工業(株)名古屋製作所等を視察した。

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減のためには、環境負荷の少ないエネルギーへの転換が重要であり、行政は市民レベルの取り組みを支援する仕組みづくりなどの役割を担う必要がある。

また、国全体と比較して本市の二酸化炭素の排出割合が高くなっている自家用車の使用を含む運輸及び民生(家庭)部門での排出を減らすため、電気自動車等の購入費助成支援や、家庭における消費エネルギーの「見える化」などの取り組みが重要である。



愛知県岡崎市での視察

### 子育て支援調査特別委員会

委員長 高橋 次男 副委員長 鈴木 広康

本委員会は、すこやかに子どもを育てるための支援の充実を図ることにより、安心して子育てができる環境づくりを促進することを目的に設置された。

これまで五回にわたり委員会を開催し、家庭教育のあり方、子育てにおける地域支援及び両立支援の二つのテーマについて、委員相互の活発な意見交換を行うとともに、有識者を招いて意見を伺った。

また、十一月には、名古屋及び滋賀県大津市を、さらに五月には、本年四月に開会した本市の「ひびく泉中央」を視察した。

近年の家庭や家族を取り巻く環境が大きく変化してきている中、家庭教育のあり方、子育てにおける地域支援については地域の力が重要であり、地域全体で子育てを育むという機運の醸成が重要である。

この中で行政は、家庭と地域、学校などの各主体の有機的な連携を図るため、広報活動や情報提供、人が集まる場や交流できる機会の提供など具体的な支援が必要であると考えられる。

次に、子育てにおける両立支援については、国等の制度をわかりやすく企業に伝えること等により、企業が両立支援に取り組みやすい環境を整備すること、また、本市の保育所待機児童に係る緊急整備



大阪市子育て総合支援センター(ゆめっこ)での視察

計画と並行し、子育て全般にわたる施策を充実させ、安心して子育てができる環境を整備することが重要だと考えられる。

次世代を担う健やかな子供を育てるという気持ちは、家庭と地域、学校、企業とも同じであり、各主体を尊重しながら有機的な連携を広げる支援が重要であると考えられる。

### 議会運営委員会の一年を終えて

委員 長 岡部 恒司  
副委員長 嶋中 貴志

議会運営委員会では、選任された十一名の議員が、本会議の開催に際し、本会議の日程や議事の進め方をはじめ、市長から提出された予算・条例の議案の審査方法など様々な事項について活発に協議してまいりました。

議員自らが提出する条例、国等に対する意見書、決議などの議案は、議会運営委員会での取扱いを協議し、決定したうえで本会議に提出されました。

平成二十一年第一回臨時会

までの一年間に議員から提出された議案は、「特別職の職員給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例」など条例が二件、「安心で信頼のできる地域医療の充実を求める件」など意見書が九件、「北朝鮮の核実験実施に対する抗議に関する件」の決議一件となっております。

また、議会運営委員会では、議会運営の活性化・効率化についても協議してまいりました。

本年度から、委員会での議論を充実させるために、常任委員会における市当局資料についてこれまでより早く提出されるように取り組みました。

### 議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会(五月二十七日開催)において、次の議員が表彰されました。

・特別表彰  
一 議員在職三十年以上  
池田 友信

・一般表彰  
一 議員在職十年以上  
高橋 次男  
岡部 恒司  
佐藤 わか子  
田村 建治  
石川 恒司  
岡部 恒司  
花本 則彰  
安孫子 雅浩  
岡本 あき子

### 梅原市長に対する問責決議を可決しました

以下、可決された全文を掲載いたします。

『梅原克彰市長が第三十二代仙台市長に就任して、三年十カ月が経過しました。』

市長就任後の最初の議会でありましたが、平成十七年第三回定例会において、梅原市長は、「何れも市民の意向を尊重し、議会のご意見をしっかりと伺いながら、市民とともに、また議会の皆様とともに汗を流し、すべての市民がここに生まれ、ここに住んでよかったと感じられる都市仙台をひたすら目指してまいります。」と表明されたのであります。

しかしながら、今日までこの所信のつとめた市政の運営、

遂行をなされてこられたのであります。今般のタクシー券使用問題では、議会は市民の負担に配慮するべく六月にわたり、本会議、特別委員会、常任委員会や議員協議会において、真相究明のため市長に、その説明を強く求めました。また、本市監査委員会からも、市長の対応に對し厳しい指摘がなされました。それにも関わらず、市長が説明責任を果たさなかつたことは、結果的に市政に對する市民の信頼を大きく損ねることとなりました。

以上、決議します。

平成二十一年六月二十四日  
仙台市議会

### 議員提案条例

《継続審査となった条例》  
議案第四号  
仙台市新規就農者支援事業助成金交付条例

可決した意見書は、国や関係行政機関に提出しました。

### 意見書

市議会では、市民の皆様のご生活に際しての問題について意見や要望を伝えるため、国や関係行政機関へ意見書を提出することがあります。

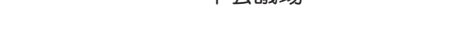
《採択となった請願》  
第一号請願  
「肝炎対策のための基本法の制定を求める件」

《継続審査となった請願》  
第二号請願  
「父子家庭(母子家庭)がともに『ひとり親家庭』として平等に支援を受けられるよう対策を求める意見書」の提出を求める件

### 市議会を傍聴してみませんか

仙台市議会の本会議や委員会(予算・決算等審査特別委員会、常任委員会、調査特別委員会など)は原則として公開していますので、ごなたでも簡単な手続きで傍聴することができます。

議会は、市民の皆様のご生活に深くかかわりのある予算、



本会議場

## 調査特別委員会

<p><b>東西線沿線整備</b> 調査特別委員会</p> <p>東西線整備及びこれに伴う沿線地域のまちづくりを促進することも、これに対応した総合交通体系の確立を図ることを目的とする。</p>	<p>○安孫子 久美子 ◎佐竹 雅浩</p> <p>大内 久雄 伊藤 新治郎 佐藤 嘉郎 大泉 鉄之助 相沢 芳則 小嶋 勇一 菊地 昭一 木村 勝好 嶋中 貴志 ふなやま 由美</p>
<p><b>防災・危機対策</b> 調査特別委員会</p> <p>防災・危機対策の充実強化を図ることにより、宮城県沖地震等あらゆる災害・危機から市民の生命と財産を守ることを目的とする。</p>	<p>○熊谷 善夫 ◎斎藤 一夫</p> <p>郷湖 健一 池田 友信 斎藤 建雄 嵯峨 サダ子 辻辺 一博 西澤 隆一 赤間 啓彦 小田島 久美子 橋本 啓一</p>
<p><b>観光振興</b> 調査特別委員会</p> <p>観光の振興を通じて、都市としての誘客・集客力を高め、地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>	<p>◎岡本 あき子 ○石川 建彦</p> <p>柳橋 邦彦 佐々木 両道 八島 幸三 鈴木 勇治 佐藤 正昭 岡部 恒司 福島 かずえ 鈴木 康弘 跡部 広人 横田 薫</p>
<p><b>地球温暖化防止等</b> 調査特別委員会</p> <p>ごみ減量化のための対策の充実等地球温暖化防止に向けた取り組みなどにより、環境負荷の少ない都市づくりを目指すことを目的とする。</p>	<p>◎山口 津世子 ○花本 繁則</p> <p>鈴木 俊充 庄司 充雄 佐藤 わか子 相沢 和紀 小野村 利裕 高見 利裕 加藤 和彦 小野寺 健</p>
<p><b>子育て支援</b> 調査特別委員会</p> <p>すこやかに子どもを育てるための支援の充実を図ることにより、安心して子育てができる環境づくりを促進することを目的とする。</p>	<p>◎笠原 哲 ○村上 一彦</p> <p>庄上 晋 村沼 万男 高橋 征男 岡崎 俊男 高橋 正俊 日下 富夫 鎌田 城行 菅原 直子 すげの 直子</p>

新しく選任された委員会の委員  
◎委員長 ○副委員長  
平成21年6月9日選任

## 常任委員会

<p><b>総務財政委員会</b></p> <p>所管 政策調整局 総務局 財政局 消防局他</p>	<p>◎橋本 啓一 ○小野寺 健一</p> <p>大泉 鉄之助 岡征 雄男 鈴木 繁朗 小嶋 勇一 日下 富夫 田村 裕 花田 裕 鈴木 康彰</p>
<p><b>市民教育委員会</b></p> <p>所管 企画市民局 教育委員会</p>	<p>◎菊地 昭彦 ○加藤 俊郎</p> <p>佐藤 正俊 大正 昭俊 佐藤 正俊 岡部 恒司 鎌田 雅行 安孫子 雅行 岡本 直子</p>
<p><b>健康福祉委員会</b></p> <p>所管 健康福祉局 子供未来局 市立病院</p>	<p>◎山本 津世子 ○菅原 万健</p> <p>菅原 敏夫 柿沼 善夫 熊谷 友信 池田 善夫 佐々木 両道 八島 幸三 嵯峨 サダ子 小野寺 利裕 村上 一彦</p>
<p><b>経済環境委員会</b></p> <p>所管 環境局 経済局 農業委員会</p>	<p>◎佐藤 わか子 ○跡部 薫</p> <p>柳橋 邦彦 相沢 和紀 辻辺 一博 鈴木 勇治 佐藤 正昭 高見 利裕 赤間 啓彦 小田島 久美子</p>
<p><b>都市整備建設委員会</b></p> <p>所管 都市整備局 建設局</p>	<p>◎庄司 充 ○中野 俊志</p> <p>大内 久雄 郷湖 健一 高橋 征男 高橋 正俊 木村 裕 石川 直子 野田 由美</p>
<p><b>公営企業委員会</b></p> <p>所管 水道局 交通局 ガス局</p>	<p>◎斎藤 充夫 ○横田 建彦</p> <p>庄司 充 伊藤 新治郎 藤原 哲 笠原 俊 渡辺 博一 渡辺 公博 相沢 和文 西澤 啓文 福島 かずえ</p>
<p><b>議会運営委員会</b></p> <p>議会の運営に関する事項の調査等を所管</p>	<p>◎高橋 啓彦 ○村上 充</p> <p>村上 充 庄司 充 小野寺 利裕 小野寺 健 石川 直子 岡部 恒司 花田 裕 鎌田 雅行 跡部 薫 橋本 啓一 一人 薫</p>

## 会派別 議案等賛否一覧表

議案等 [ ]は議案番号	会派名 [ ]内は所属議員数		改革ネット・自民(19)	民主クラブ仙台(12)	きぼう(8)	公明党(8)	日本共産党(6)	社民党(6)	無所属(1)	採決結果	
	議案等	議員数									
補正予算案	一般会計(第1号)[80]	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	企業会計・高速鉄道事業(第1号)[83]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別会計・都市改造事業(第1号)[81]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	企業会計・下水道事業(第1号)[82]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
条例改正案	子育てふれあいプラザ条例[84]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[85]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例[76]、市長等の給与に関する条例[77]:第1回臨時会議案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	職員の給与に関する条例[78]:第1回臨時会議案	○	○	○	○	○	×	×	○	可決	
その他議案	工事請負契約の締結に関する件[86]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	町の区域をあらたに画する件[87]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	町の区域の変更に関する件[88]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	宮城県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及びこれに伴う宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更の協議に関する件[89]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	市道路線の認定及び廃止に関する件[90]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願	人事委員会の委員の選任に関する件[91]	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	固定資産評価員の選任に関する件[92]	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	監査委員の選任に関する件[93]	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	専決処分事項に関する件[79]:第1回臨時会議案	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議員提出議案	第1号請願	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
	議第3号 介護サービスに係る費用の助成に関する条例	×	×	×	×	○	×	×	×	否決	
	決議第2号 梅原市長に対する問責決議	7頁を参照してください									可決
	意見書第1号 意見書第2号 意見書第3号 議員派遣の件(その1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員派遣の件(その2から3)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第2号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例 決議第1号 北朝鮮の核実験実施に対する抗議に関する件:第1回臨時会議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○:議案等に対して賛成 ×:議案等に対して反対

### 北朝鮮の核実験に対し抗議の決議(決議第1号)を全会一致で可決しました!

北朝鮮が5月25日に、平成18年に続き2回目の核実験を実施したことを発表しました。  
仙台市議会は、5月28日の第1回臨時会で、ミサイルの発射等の一連の強硬姿勢をとる北朝鮮に対し断固として抗議し、また、日本政府にも国連安全保障理事会などを通じ、北朝鮮の核開発及び核実験を即刻中止させるとともに国際社会が一致して経済制裁を発動するなど毅然とした対応を求める決議を全会一致で可決しました。

**議員の辞職**  
柳橋邦彦議員が七月三日付けで、渡辺博議員が七月十二日付けで、辞職となりました。



前列左から高見委員、安孫子委員長、嶋中副委員長、庄司委員、後列左から小野寺(利)委員、小野寺(健)委員、加藤委員、相沢(和)委員

**編集後記**  
新たに一年間、議会広報を担当することになりました。六会派からの委員六名と正副委員長の計八名です。これまでも他都市に先駆けて取り組んできた、広報委員会活動を継承しつつ、委員相互が知恵を出し合い、できるだけ分かりやすく親しみやすい議会広報となるよう努めてまいります。  
市民の皆様から率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成21年第3回定例会は9月7日(月)開会予定です